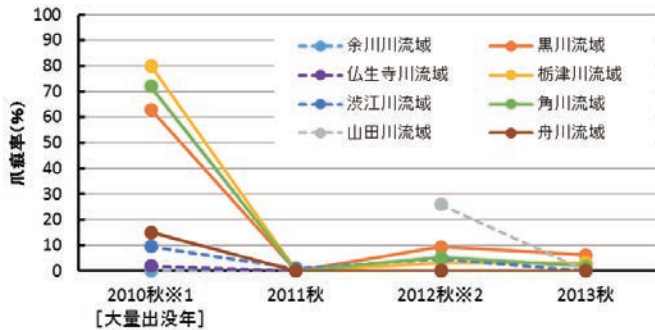
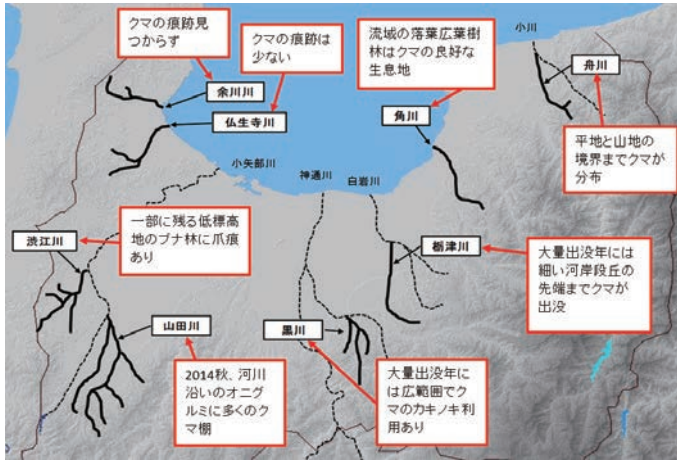


ツキノワグマの採食痕跡とほ乳類の特徴



※1 仏生寺川は2010年秋以前にツキノワグマが利用した割合
 ※2 山田川は2012年以前にツキノワグマがカキノキを利用した割合

図1. 各流域のカキにおけるツキノワグマ爪痕率の年変化

表1 各流域の調査でツキノワグマの採食が確認された樹種

果実の種類	確認本数	確認河川
液果類		
ミズキ	9本	黒川(2013)、栃津川(2010)
エノキ	8本	山田川(2014)、角川(2010)
堅果類		
コナラ	3本	角川(2010)
ミズナラ	3本	角川(2008)
クヌギ	2本	角川(2010)
クリ	5本	渋江川(2010)、栃津川(2010)、角川(2008・2010)
オニグルミ	22本	山田川(2014)、栃津川(2010)、角川(2008・2010)



ミズキの果実



オニグルミの果実



コナラの堅果

1. ツキノワグマの採食痕跡(カキ)

富山県では近年、2004、2006、2010年に大量出沒とよばれる人里にツキノワグマが出沒する現象が発生した。要因の1つとしてクマの秋の主食であるドングリ類(コナラ・ミズナラ・ブナ等)の凶作があげられ、餌が不足する年には人里に出沒すると考えられている。本調査では総合調査を実施した9地域の内、猫池を除く8河川の流域について、カキに残されたクマの爪痕の確認を総合調査実施年以降、継続的に行った。各河川流域で大量出沒年である2010年秋(仏生寺川流域については2010年秋以前)にカキが利用された割合を見ると(図1)、県東部の河川では舟川を除くと62~80%と高い割合であることがわかる。県西部の余川川では0%、仏生寺川、渋江川でそれぞれ2%、9.5%と、県東部より低い割合となっている。

一方で大量出沒年以外の年についてみると、2011年秋はすべての流域においてカキの利用は見られなかった。また、2012年、2013年秋についても0~9.4%と流域による差はあるものの低い利用率となっている。この両年にクマに利用されたカキはいずれも廃材や山間部など人間の生活空間とは離れた場所に生育するカキであった。以上のことから、カキは人間生活の少ない山間部では大量出沒年以外にもクマに利用されることがあるものの、人里周辺では大量出沒年に限られて利用されており、またその傾向は県の東部地域で顕著であることがわかる。

2. ツキノワグマの採食痕跡(カキ以外)

クマが樹に上り果実を食べる時にできるクマ棚を各流域で記録した結果、7種の樹種が確認された。クマが秋に採食する果実は種子を果肉で包んだ形状を持つ果実(液果)と、ドングリ類のような乾いた皮を持つ果実(堅果)の2種類に大別される。液果類ではミズキが黒川、栃津川で、エノキが山田川、角川で確認され、堅果類ではコナラ、ミズナラ、クヌギ、クリ、オニグルミが渋江川、山田川、栃津川、角川等で確認された。クマが採食する果実は結実の時期や、その結実量の豊凶の影響を受けることから、年毎に利用可能な果実を組み合わせながら採食していると考えられる。

3. ほ乳類

富山県内の4小河川、県東部の栃津川（白岩川支流）、黒川（熊野川支流）、県西部の山田川（小矢部川水系）、仏生寺川で、計12種の中型・大型ほ乳類を確認した（表2）。ハクビシンだけが外来種（東南アジア原産）であるが、他は在来種である。

ニホンザルは主に神通川以東に群れて生息するため、栃津川と黒川だけで見られ、県西部の山田川や仏生寺川では見られなかった。その他の中型ほ乳類は、県内の山地に広く分布する代表的なほ乳類である。調査地は、山田川のダム上流だけが集落のない山地の溪流であるが、他はいずれも近くに集落がある。今回の調査で見られた、タヌキ、キツネ、アナグマ、テン、イタチ、ハクビシンなどは、住居周辺、畑や水田、山林といった人の生活圏内を生活場所としているほ乳類と言える。

大型ほ乳類では、ツキノワグマ、イノシシ、カモシカとも、調査した4河川流域（栃津川、黒川、山田川、仏生寺川）で見られた。イノシシは県内では明治時代には毛皮の記録があるものの、長い間生息せず、ここ20年ほどの間に県内全域で分布を広げた。ニホンジカもイノシシと同様分布を広げており、調査では確認されなかったが、調査地の流域に生息していると思われる。仏生寺川流域で確認された大型ほ乳類（ニホンジカ含む）は氷見地方では昔は生息していなかったほ乳類であり、氷見地方は、これら大型ほ乳類が県内で確実に分布を広げていることを示す地域と言える。



ツキノワグマ



イノシシ



イタチ



タヌキ



テン



カモシカ

表2 調査で記録された中型・大型ほ乳類

目	科	和名	富山県の生息場所			栃津川	黒川	山田川	仏生寺川
			平地	山地	高山 2000m~				
霊長目	オナガザル科	ニホンザル		○	○	○	○		
齧歯目	リス科	ニホンリス		○	○	○			○
兔目	ウサギ科	ニホンノウサギ	○	○	○		○	○	○
食肉目	イヌ科	キツネ	○	○	○		○	○	○
		タヌキ	○	○		○	○	○	○
	イタチ科	イタチ	○	○					○
		テン		○	○		○	○	○
		アナグマ		○	○		○	○	
ジャコウネコ科	*ハクビシン	○	○	○		○	○	○	
大型ほ乳類									
食肉目	クマ科	ツキノワグマ		○	○	○	○	○	○
偶蹄目	イノシシ科	イノシシ		○	○	○	○	○	○
		ウシ科		○	○		○	○	○
			計			6	10	9	10

*外来種

クマ・ほ乳類